
明日（あす）の花

桜井 心

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あす
明日の花

【Nコード】

N2948P

【作者名】

桜井 心

【あらすじ】

「もし生きてても、お前の前には現れないよ、一生」 そう言つて戦地を共に過ごした親友は戦火の中へ飛び込んで行った……。ノベコンで賞頂いた作品です。

「もし生きてても、お前の前には現れないよ、一生」

そう言っ て戦地を共に過ごした親友は戦火の中へ飛び込んで行っ た。

死ぬつもりはない、けど……生きてても戻らない。

その言葉は彼の優しさだった。

戻ってくる約束をしたら、それが果たせなかった時に俺が傷つくから。

だから最初から永遠のお別れを選んだ。

戦争が終わった今、彼の安否はわからない。
本当に戻ってこなかった。

あいつのことだ、生きていると思う。

でもそれなら少しくらいヒントをくれてもいいじゃないか。姿を現さなくても、なんらかの形で大丈夫と伝えてくれても。

それが出来ないということは……

マイナスな考えはよそう。

ただ曖昧な、淡い期待を抱くだけ。

これからずっとそうして生きていくだけ。

* * * *

「統領さま」

十年後、日本国の頭となった俺のもとに幼い少女が駆け寄ってきた。

まだ八、九ほどの幼女。

警護の隙を潜り抜け走ってくる。

テロリストかもしれないと、普通なら身を案じて逃げるのだが俺はその時、立ち止まって少女が走る風景をスローモーション再生でぼんやりと見ていた。

会いたいと願っていた男によく似た小さな女の子。

「プレゼント」

差し出されたのは一輪の、白いあやめの花。

無言でそれを受け取ると、少女はニコツと笑い再び走り出した。

警備が騒いで少女を捕まえようとするが、彼女は器用にその間を駆け抜けていく。

まるで戦場から抜け出てきたよう。

白は平和の象徴、この日本を白に染めてやると。

あやめは便りの花言葉、良い便りを届ける使者。

護衛に花を奪われそうになったが、しゃがみ込んでそれを離さな

かった。

蹲り、唇を噛んで涙を堪える。

周りが騒いでいるのがわかる。

伝わる、

統領が蹲っただけで騒ぎになるこの平和な状況。

どこにいるのだろう。この付近で高みの見物か、はたまた自宅のテレビの前か。

情けない俺を見て笑っているに違いない。やがて役目を終えて戻ってきた少女を優しく抱き上げる。

その顔はきつと、あの頃と何もかわっていないのだろう。

空を見上げる、

白い鳥が空を翔けた。

平和の象徴

二度と繰り返さない戦争の傷跡と、

二度と戻らない、戦火を共にした仲間たちとの時間。

明日もまた、空に行く。

（後書き）

ありがとうございました。

戦争話は、終戦後に主人公が笑ってるような話が好きです。

そういう話を書きたい……。

戦時中から「この戦いを終わらせたい」と思ってた、でも出来なくてたくさんの仲間を失って、どうにか生き延びれて戦地になったいた町を見下ろす。

「終わったよ」と、空に向かって仲間たちに呟くシーンとか好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2948p/>

明日（あす）の花

2010年12月10日17時52分発行